



ラック・マウント型18.5インチLCDコンソール・トレイ Dell® 用

インストーラー / ユーザー・ガイド

本文書の情報は予告なく変更されることがあります。また新しい記載内容はすべてのアプリケーションを対象とするものではない場合があります。本文書の正確性および完全性を保証するためVertivではあらゆる予防措置を講じておりますが、記載情報の使用が原因で発生する損害または誤記と脱落に対しては一切の責任を負わず、かつそのすべての賠償責任を拒否します。本文書で明確に説明されていない手順を実行する上での適正な方法、ツール、資材については、該当の地域に適用されるその他の慣行または建築基準法規を参照してください。

このマニュアルで取り上げられている製品は、Vertivが製造・販売のいずれかまたは両方を担うものです。本文書の所有権はVertivに帰属します。さらに本文書にはVertivが所有する機密ならびに専有の情報が含まれている場合があります。これらの情報をVertivからの書面による許可なしに複製、使用、もしくは開示することは方法の如何を問わず固く禁じられています。

言及されている会社の名称および製品は、それぞれの会社の商標または登録商標です。商標名の使用に関するご質問はすべて、直接製造元のメーカーまでお問い合わせください。

テクニカル・サポート・サイト

製品の取付や操作で問題が生じた場合は、該当する箇所を本マニュアルで調べ、記載された手順に従って解決できるかどうか試してみてください。

さらにサポートが必要な場合には <https://www.VertivCo.com/en-us/support/> をご参照ください。

目次

1 概要	1
1.1 ラック・マウント型LCDコンソール・トレイ・アッセンブリの内容	1
1.2 安全に関する注意事項	2
1.3 全般	2
2 取り付け	5
2.1 ラックへの設置	5
3 コンソール・トレイの操作	11
3.1 機能	11
3.1.1 パワー・マネージメント・モード	11
3.2 モニターのセットアップ	12
3.3 パワー・マネージメント・システム	13
3.4 前面パネルの使い方	13
3.5 OSDメニューの使い方	13
3.5.1 OSDメニューの設定	14
3.5.2 ディスプレイの設定	14
3.5.3 その他の設定	15
3.5.4 パーソナライズ	15
3.6 USB 3.0	15
3.7 キーボード	16
3.8 タッチパッド	18
4 ラックからの取り外し	19
付録	21
付録 A: タイミング	21
付録 B: テクニカル・サポート	23

1 概要

1Uラック・マウント型LCDコンソール・トレイ・アセンブリは、最新のフラットパネル・モニター技術から設計され、水銀を含まないパフォーマンス重視の製品です。本製品はD-Sub 15ピンVGAコネクタを使用し、最大16のVESAモード、VESA DPMSパワー・マネージメント、プラグ・アンド・プレイ機能に対応しています。トレイのデザインは、従来のCTRモニターに比べ、省ラック・スペースとなっています。さらに、フラットパネル・モニターの消費電力は少なくなっています。

1.1 ラック・マウント型LCDコンソール・トレイ・アセンブリの内容

LCDコンソール・トレイには以下のアイテムが付属しています。

- 1Uラック・マウント型LCDコンソール・トレイ×1
- Dell® ReadyRails™ IIスライド・レール×1対
- 内部スライド・レール(コンソール・トレイに事前に工場にて取り付けられています)
- ラック・トラベル・ロック×1対
- ラック・マウント型Avocent® LCDコンソール・トレイのクイック・インストール・ガイド
- 安全性および法規制関連文書ガイド
- 中国版RoHS指令対応カード
- カスタマー・サポート・カード

図 1.1 1Uラック・マウント型LCDコンソール・トレイ・アセンブリ

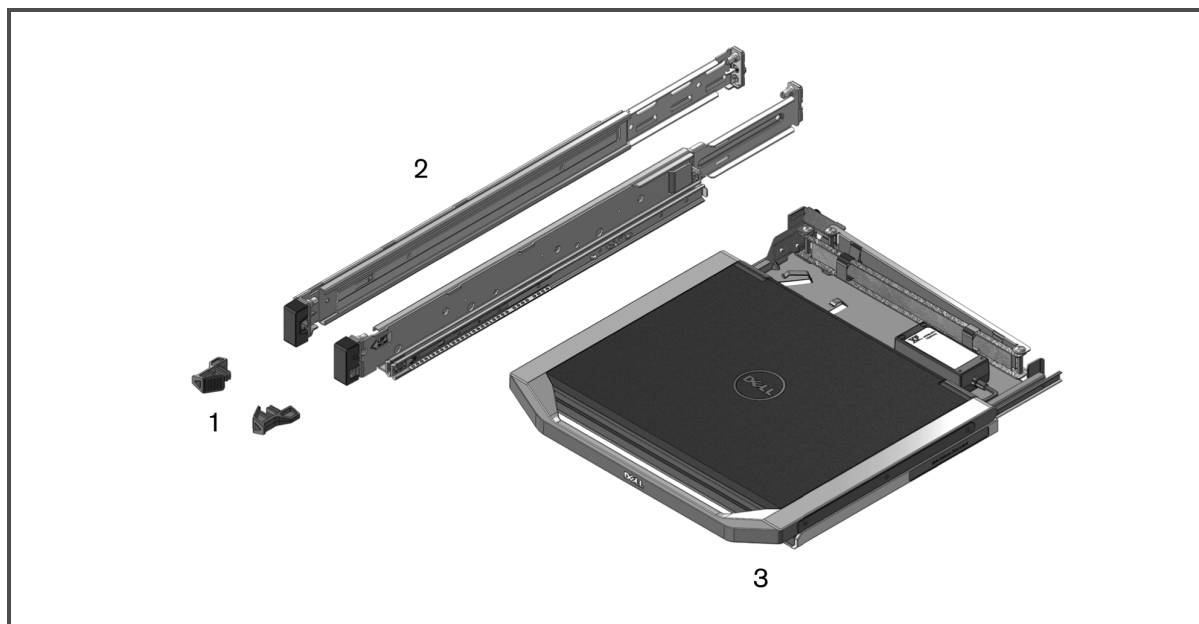


表 1.1 ラック・マウント型LCDコンソール・トレイ・アセンブリの説明

アイテム	説明
1	ラック・トラベル・ロック
2	Dell® ReadyRails™ IIスライド・レール
3	LCDコンソール・トレイ

1.2 安全に関する注意事項

身体の安全を守り、使用システムや作業環境を損傷から保護するために、次の安全に関するガイドラインに従ってください。



警告！ システムの電源は高電圧および高エネルギーを発出して人身に危害を及ぼす可能性があります。カバーを取り外してシステム内のコンポーネントにアクセスするといった作業は、必ず訓練を受けたサービス技術者に任せてください。

本マニュアルは、1Uラック・マウント型LCDコンソール・トレイのみを対象としています。以下のユーザー・ガイドの追加の安全事項も併せて読み、その指示に従ってください。

- リモート1Uラック・マウント型LCDコンソール・トレイのクイック・インストール・ガイド
- 安全性、環境および法規制関連文書ガイド。

1.3 全般

以下の追加の安全事項も併せて読み、その指示に従ってください。

- サービス・マークを確認し、その指示に従ってください。
- Dellシステムのマニュアルに記載されている以外の修理、メンテナンス作業は行わないでください。
- 電光のイラストの三角形記号が付いているカバーを開くと感電の危険があります。
- これらの格納区画内の部品については、訓練を受けたサービス技術者だけが修理を行ってください。
- サービス技術者として正式な資格書類を保持していない限り、本製品を開けようとししないでください。
- 次のいずれかの状態が発生した場合は、電源コンセントから製品の電源ケーブルを抜いて、部品を交換するか、Dell認定サービス業者に問い合わせてください。
 - 電源ケーブル、延長ケーブル、またはプラグが損傷した。
 - 製品内部に物体が落ちてしまった。
 - 製品が水に晒されてしまった。
 - 製品を落としたか、損傷させた。
 - 操作手順に従っても製品が正常に作動しない。
- システムは暖房器具や熱源から離して設置してください。また、冷却用の通気孔をふさがないでください。
- システム・コンポーネントに食べ物や液体をこぼさないでください。また、水分のある環境では製品を操作しないでください。システムに水が入った場合、トラブルシューティング・ガイドの該当する項を参照するか、テクニカル・サポートにお問い合わせください。
- 本製品は認定機器のみと併用してください。
- カバーを外す / 内部コンポーネントにアクセスする際は、製品が常温に戻ってから行ってください。
- 必ず、電気定格ラベルに記載の外部電源タイプを使用して製品を作動してください。適合する電源タイプが不明の場合は、認定サービス業者または地域の電力会社にお問い合わせください。

注：システム破損を避けるため、電源装置の電圧選択スイッチ(備わっている場合)は、必ずご使用地域のAC電源に適合した電圧になるよう設定してください。また、モニターと接続デバイスの電気定格が適切であることを確認してください。

- 使用モニターおよび周辺機器の電気定格が設置場所の電源に適合していることを確認してください。
- コンソール・トレイには電源装置用のカスタム・コネクタが付いています。必ず、コンソール・トレイに付属の電源装置のみを使用してください。
- 本製品に付属の電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を避けるため、システムおよび周辺機器の電源ケーブルは、正しい方法でアース処理されたコンセントに接続してください。これらの電源ケーブルは、正しくアースするために、三本ピン・プラグが使用されています。アダプター・プラグを使用したり、アースピンをケーブルから取り外したりしないでください。
- 延長ケーブルおよびテーブルタップは定格に従って使用してください。テーブルタップに接続する製品全部の合計定格アンペアがテーブルタップの最大定格アンペアの80%を超えていないことを確認してください。
- 突発的に起きる一時的な電源の増減からシステムを保護するために、サージ・サプレッサー、ライン・コンディショナ、または無停電電源装置(UPS)を使用してください。
- システム・ケーブルおよび電源ケーブルは慎重に配置してください。ケーブルは踏んだりつまずいたりすることのない形で配線してください。ケーブルには何も載せないでください。
- 電源ケーブルやプラグは改造しないでください。設置場所での電氣的改修については、有資格の電気技術者または地域の電力会社にお問い合わせください。必ず使用の地域または国の配線規定に従ってください。

このページは意図的に空白にしています。

2 取り付け

2.1 ラックへの設置

この章では、LEDコンソール・トレイを4柱仕様のラック・キャビネットに設置する手順について説明します。プルアウト式のトレイ・アセンブリは、タッチパッド付きのキーボードと使用時にコンソール・トレイから上に回して使うフラットパネルのモニターを特徴としています。取り付けたケーブル管理アーム(CMA)は、モニター、電源、USB、キーボード / タッチパッドの各ケーブルをラックの後部に配線します。モニターの電源装置はコンソール・トレイに取り付けられています。

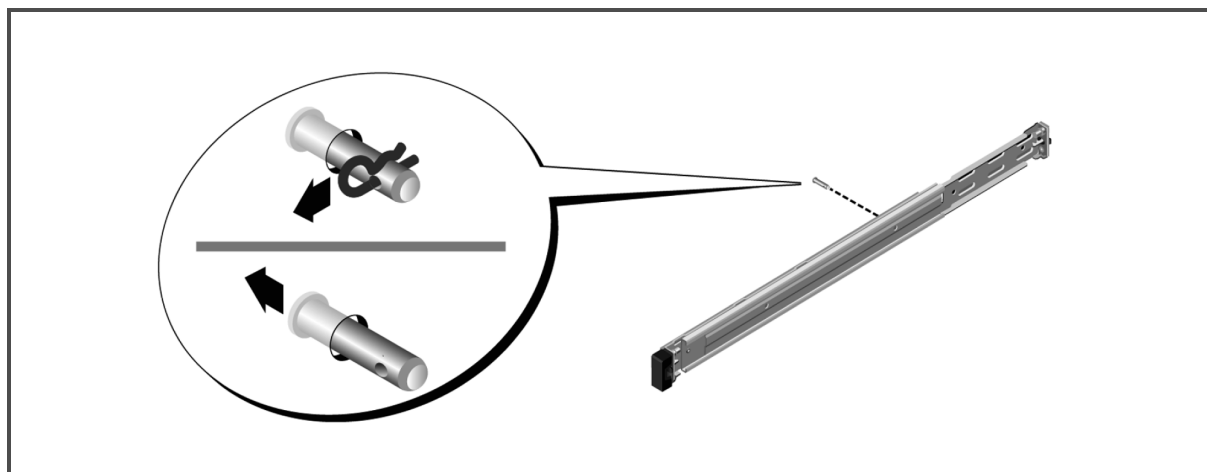
LCDコンソール・トレイは、Dell ReadyRails™ IIスライド・レールを使用してラック・キャビネットに設置します(キャビネットのメーカーは問いません)。

取り外しの手順については、[ラックからの取り外し](#)(ページ19)を参照してください。

注: コンソール・トレイを取り付けるには、1Uの空きラック・スペースが必要です。

ツールレス・レールまたはツールド・レールのいずれかを取り付ける前に、スライド・レール・ブラケットから工場出荷用ピンを取り外す必要があります。

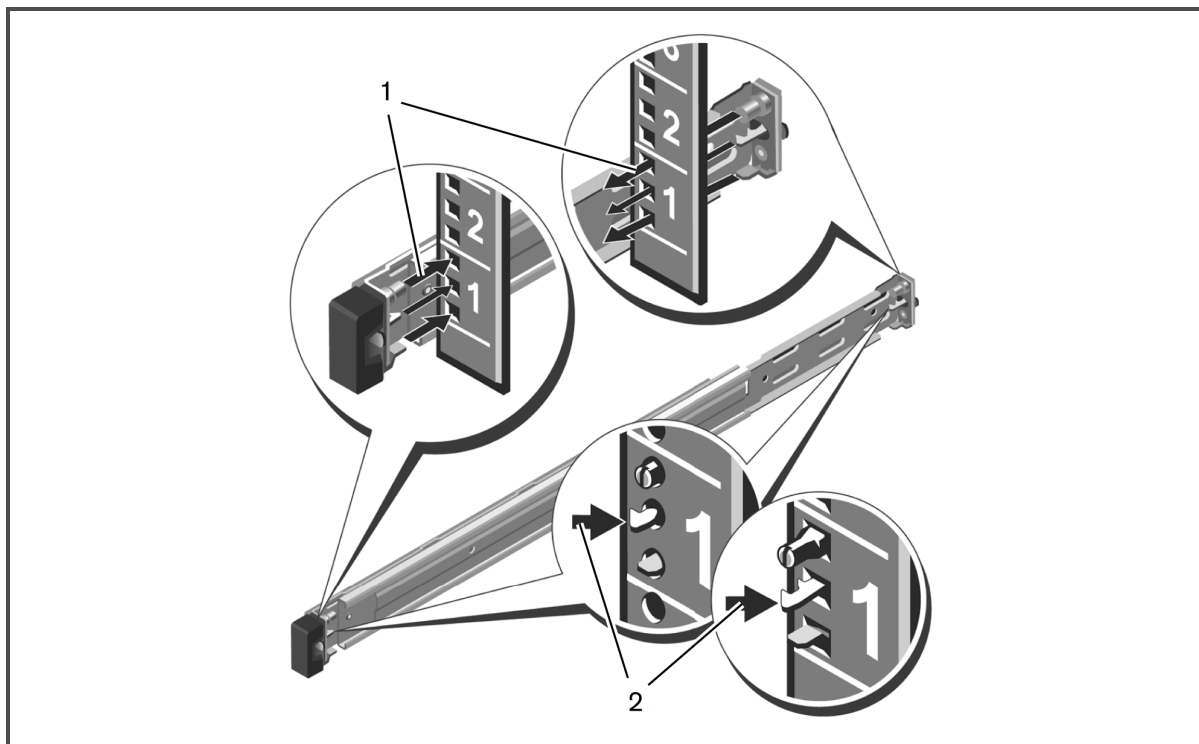
図 2.1 工場出荷用ピンの取り外し



ツールレス・レールを取り付けるには:

1. 「FRONT」とラベル表示された左右のレール・マウントをそれぞれの位置に配置し、各マウントが垂直ラック・フランジの前面の穴に収まるように向きを決めます。
2. ラッチが所定の位置にきっちり収まるようになるまで、希望するUスペースの上と下の穴に各マウントを揃えます。
3. 垂直ラック・フランジに完全に固定され、ラッチが所定の位置にきっちり収まるようになるまで、レールの後部端をはめ込みます。

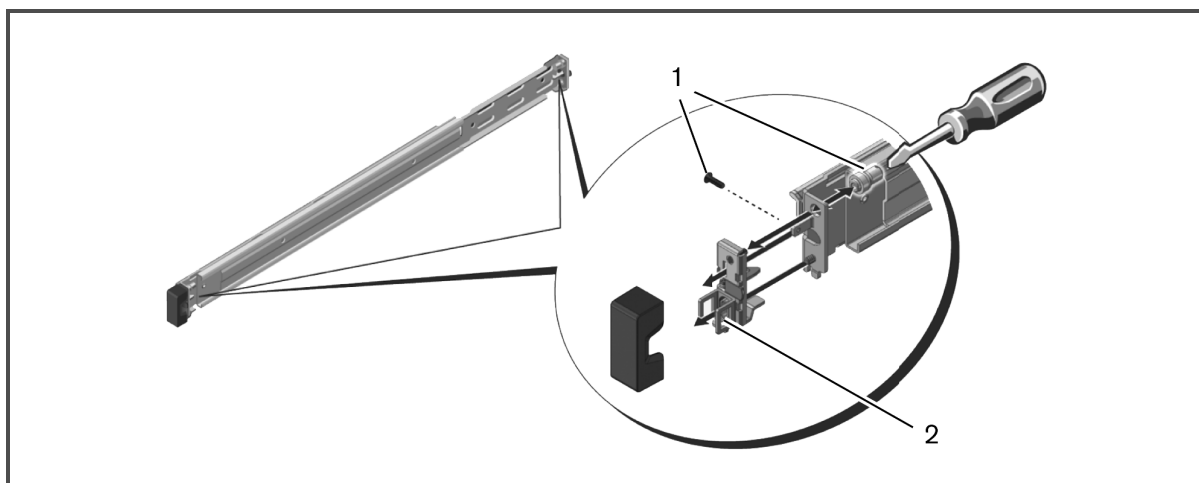
図 2.2 ツールレス・レールの取り付け



ツールド・レールの取り付け準備:

1. Torx™ (トルクス)ドライバーを使用して前面取り付けブラケットからネジを取り外し、続いてマイナスドライバーを使用して前面および背面取り付けブラケットからピンを取り外します。
2. レール・ラッチのサブアセンブリを引き出して回転させ、取り付けブラケットから取り外します。

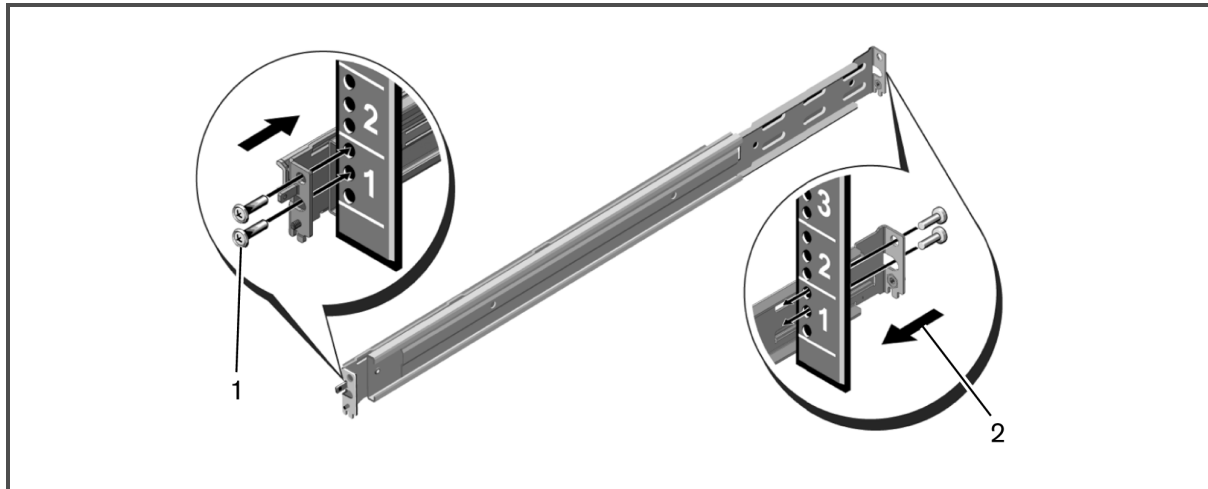
図 2.3 ツールド・レールの取り付け準備



ツールド・レールを取り付けるには:

1. 付属の2対のネジを使用して、左右の取り付けレールを前面の垂直ラック・フランジに取り付けます。
2. 左右の後部ブラケットを背面の垂直ラック・フランジに向かって前方にスライドさせ、付属の2対のネジを使って取り付けます。

図 2.4 ツールド・レールの取り付け

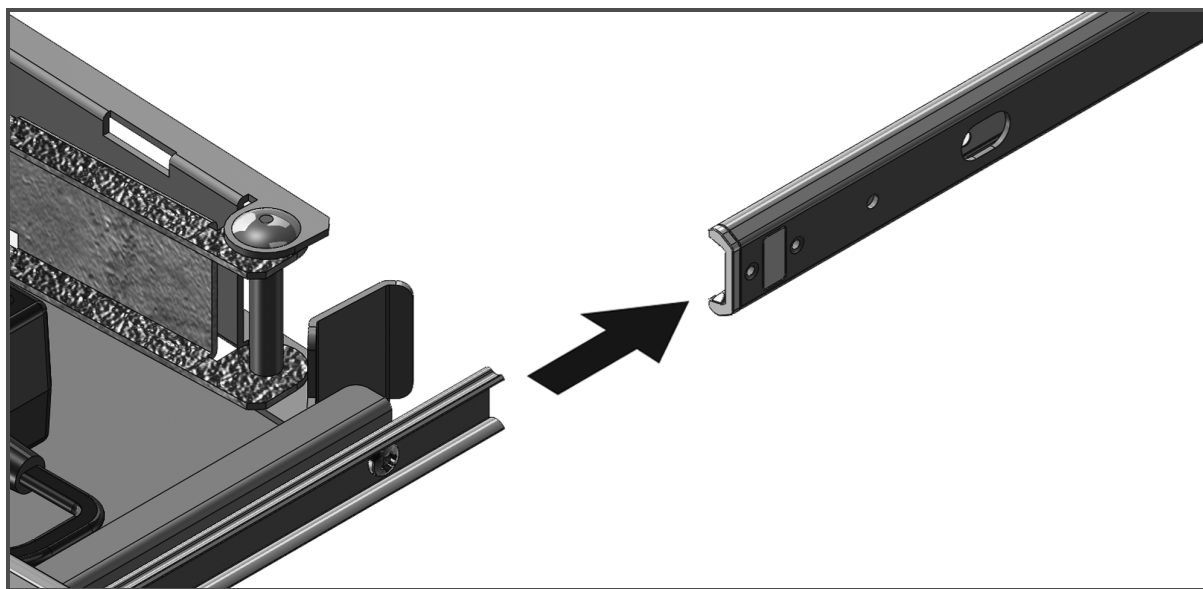


コンソールトレイを取り付けるには:

注: 両側のスライド・レールに内部レールが入るまで、システムが適切に保持されていることを確認してください。ラックに取り付ける前に、キーボード・トレイにモニターを固定しているテープをすべて取り除いてください。

1. ボールベアリングのレースが一番前の位置になっていることを確認します。
2. 内部レールの端部を外部レールの端部に揃えて差し込みます。
3. 内部レールが完全に挿入されるまで、システムを内側に押し入れます。
4. ラック内でスムーズにスライドできるようになるまで、コンソール・トレイを引き出したり、押し入れたりします。

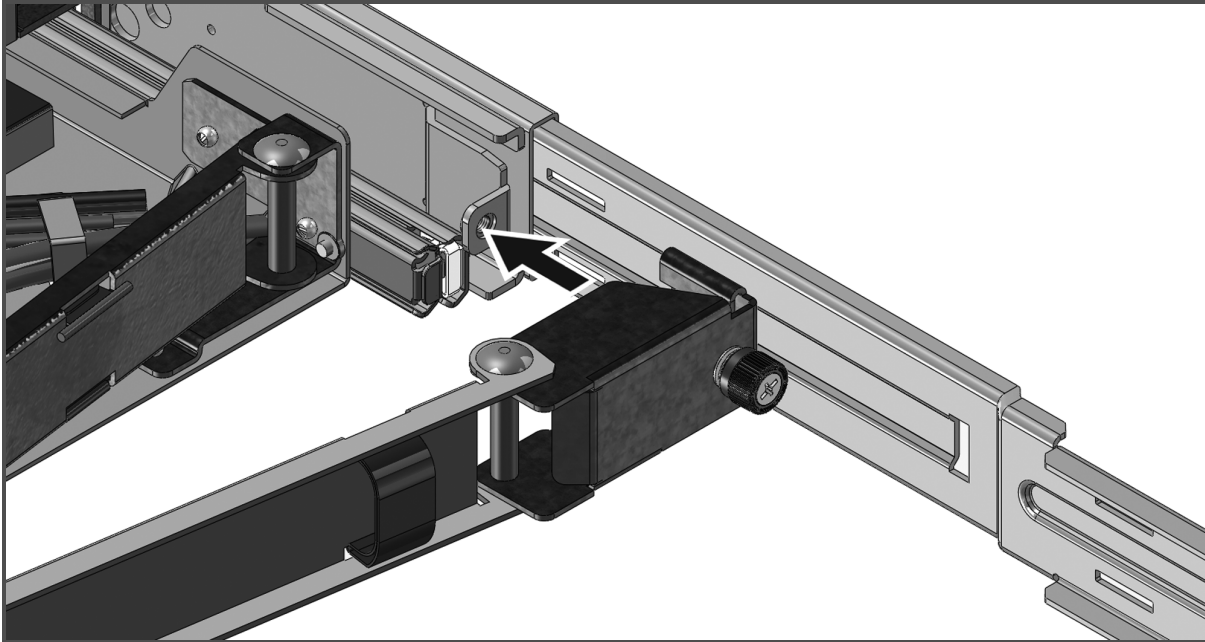
図 2.5 コンソール・トレイの取り付け



ケーブル管理アーム(CMA)を取り付けるには:

1. ラックの後部から、ジップ・タイを切断するか、CMAをトレイの後部に固定しているテープを取り外します。
2. CMAの自由端を左側の固定レールブラケットの端部のブラケットまで回します。
3. アームの端部で固定ネジを使ってCMAをブラケットに取り付けます。

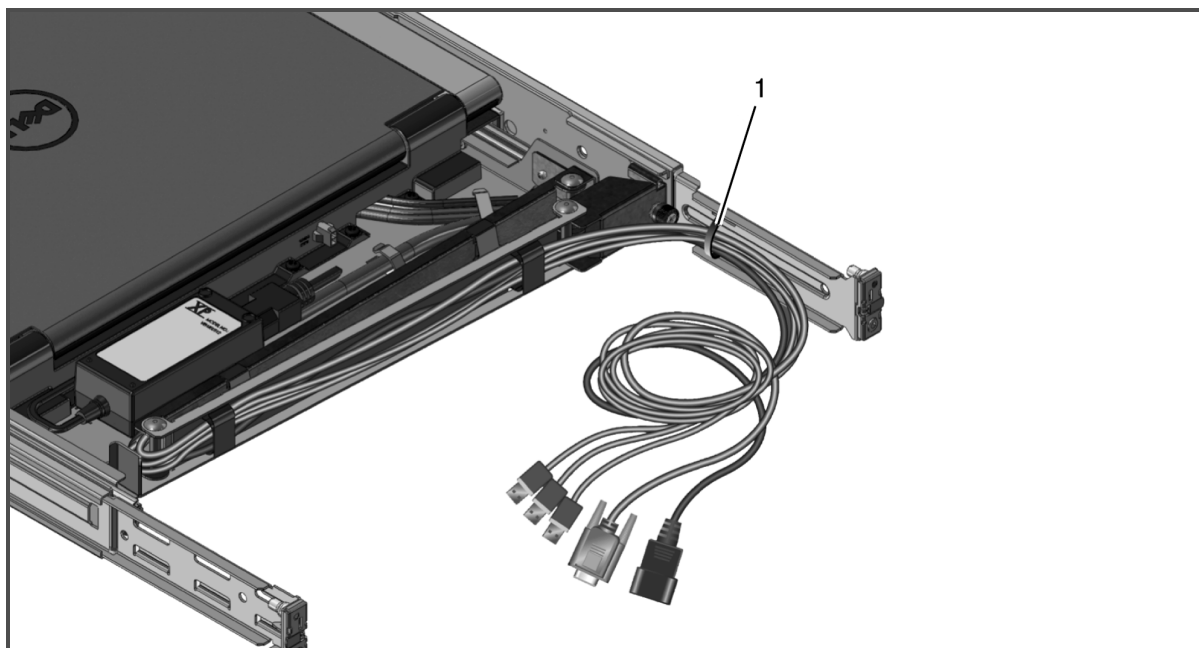
図 2.6 ケーブル管理アーム(CMA)の取り付け



ケーブルをラックの後部に配線するには:

1. CMAのケーブル・チャンネルにケーブルを慎重に通して、ジップ・タイまたは面ファスナー(同梱品ではありません)でケーブルを背面のレール・ブラケットに固定します。強く引っ張られた状態になっていないことを確認してください。
2. ケーブルを適切なターゲット・デバイスに接続します。

図 2.7 ケーブルの配線



3 コンソール・トレイの操作

このコンソール・トレイは静電容量方式タッチ画面のインターフェイスを特徴としています。希望するアイコンの下にあるLEDにタッチします。電源はそれ自体がアイコンになっています。

3.1 機能

表 3.1 コンソールの機能

機能	説明
最適解像度とリフレッシュ・レート	1366 x 768 (60 Hz時)
スクリーン・タイプ	アクティブ・マトリックス薄膜トランジスタ(TFT)液晶ディスプレイ(LCD)
表示領域	409.8 mm x 230.4 mm(16.1インチ x 9.1インチ)
画面对角距離	470.2 mm(18.51インチ)
対応色	1,670万色

3.1.1 パワー・マネージメント・モード

ご使用のシステムにVESA DPMS準拠のディスプレイ・カードやソフトウェアがインストールされている場合、モニターの消費電力は、使用していないときは自動的に低くなります。キーボード、マウス、その他の入力デバイスからの入力が検出されると、モニターは、収納された状態になっていない限り、自動的に通常の作動に戻ります。以下の表は、電力消費および自動省電力機能の信号の一覧です。

表 3.2 パワー・マネージメント・モード

VESAモード	ビデオ	水平同期	垂直同期	消費電力	LEDの色
オン	アクティブ	はい	はい	20 W(最大)	青(明るさ最大)
収納された状態	非表示	いいえ	はい	0.5 W未満	黄色
スリープ・モード	非表示	はい	いいえ	0.5 W未満	黄色
アクティブオフ	非表示	いいえ	いいえ	0.5 W未満	黄色
DC電源オフ	-	-	-	0 W	暗

表 3.3 信号コネクタ(15ピンD-subコネクタ)

ピン番号	信号
1	ビデオ - 赤
2	ビデオ - 緑
3	ビデオ - 青
4	接地
5	LVDS
6	ビデオ - 赤用接地
7	ビデオ - 緑用接地
8	ビデオ - 青用接地
9	-
10	-
11	-
12	SDA (DDC1/2B)
13	水平同期
14	垂直同期
15	SCL (DDC2B)

3.2 モニターのセットアップ

フラットパネル・モニターをセットアップするには:

1. モニターが適切な電源に接続されていることを確認してください。
2. モニターのトレイを引き出します。
3. ハンドルでモニターを保持して、最大の110度の角度まで回転します。

注:トレイのハンドルを使用してラック内でトレイを押ししたり、引いたりします。

4. 装置を電源に初めて接続したときに、電源アイコンを押してスイッチをオンにする必要があります。初回以降は、開けたときに装置のスイッチがオンになります。

注:電源が完全に切断されている場合、コンソール・トレイは既定の設定によりアクティブオフ・モードになります。

3.3 パワー・マネージメント・システム

このフラットパネル・モニターは、VESA DPMS(バージョン 11)のパワー・マネージメント規格に準拠しています。VESA DPMSの提案では、水平および垂直同期信号を検出することにより、4つの段階の省電力モードが提供されます。モニターが省電力モードになっている場合、LEDインジケータは点灯しません。






表 3.4 LCD表示

色	給電状態	説明
青	電力状態は良好	ビデオ信号が良好であれば、モニターにターゲットの出力が表示されます。モニターでVGA信号が検出されない場合、モニターには「VGAが検出されません」というスクロールメッセージが表示されます。
黄色	電力状態は良好	モニターは、オフであるかスリープ・モードになっているかのいずれかです。
LEDインジケータが点灯しない	給電されていません	装置が給電されているかを確認してください。

3.4 前面パネルの使い方

画像の設定を調整するには、モニターの前面にあるアイコンを使用します。

表 3.5 前面パネルの各コントロールの説明

アイコン	モード	説明
	色の設定	モニターのカラー・モードを選択します。
	明るさ / コントラスト	明るさとコントラストのメニューに直接アクセスします。
	自動調整	モニターを自動的に調整します。
	OSDメニュー	オンスクリーン・ディスプレイ(OSD)が起動します。
	終了	OSDメニューを終了します。
	電源	モニターの電源をオンまたはオフにできます。LEDが青のときは、モニターはオンで、すべての機能が使用できます。LEDが黄色のときは、モニターは省電力モードになっています。LEDが黄色で点滅するときは、ユニットの電源は入っていてもビデオ電源は入っていません。

3.5 OSDメニューの使い方

このフラットパネル・モニターはオンスクリーン・ディスプレイ(OSD)を特徴としています。OSDのメイン・メニューにアクセスするには、モニターの前面パネルのOSDメニュー・アイコンを押します。機能アイコンを使用して、メニュー内をスクロールし、選択したメニュー・アイコンに変更を加えます。

注：前面パネルのすべてのアイコンには、OSDメニューからもアクセスできます。

表 3.6 機能アイコンの説明

アイコン	機能	説明
	上向き矢印	メニュー内を上スクロールします。
	下向き矢印	メニュー内を下スクロールします。
	チェックマーク	変更内容を承認します。
	終了	OSDメニューを終了します。
	リターン	前のメニューに戻ります。
	右向き矢印	メニューからアイテムを選択したら、右向き矢印をクリックして、アイテムのパラメーターにアクセスします。
	トグル	選択したアイテム間を切り替えます。
	パーソナライズ	個人用のショートカット設定でモニターをカスタマイズするには、このアイコンにタッチします。
	その他の設定	言語とメニューを調整します。DDC/C1通信を制御します。LCDコンディショニングと工場出荷時の設定リセットを実行します。

注：設定を変更して、別のメニューに進むか、OSDメニューを終了すると、モニターにより自動的に変更内容が保存されます。

3.5.1 OSDメニューの設定

ディスプレイは下の表に記載の設定を用いてカスタマイズできます。

表 3.7 OSDメニューの設定

機能	説明
明るさ / コントラスト	明るさとコントラストを増減します。明るさとコントラストの範囲は両方とも0~100です。
自動調整	画面を自動的に調整し、ディスプレイの設定を最適化します。
入力ソース	利用可能な入力信号をスキャンします。サポートされている入力信号はVGAのみです。
色の設定	画像モードと色の形式を設定します。
プリセット・モード	カラー・モードを選択します。「カスタム色」モードを選択した場合は、RGBスケールが表示されます。
色の設定をリセット	色の設定を工場出荷時の既定値に戻します。

3.5.2 ディスプレイの設定

「ディスプレイの設定」メニューで画像を調整することができます。

表 3.8 ディスプレイの設定

機能	説明
ワイド・モード	画像比率を1:1(実際のピクセル数)、アスペクト比(信号入力ごとの最大許容画像)、全画面(画像を1366x768に調整し、全画面表示にする)に設定します。注:最適なプリセット解像度の1366x768では「ワイド・モード」調整は必要ありません。
水平位置	画像を左右に調整します。
垂直位置	画像を上下に調整します。
鮮明度	鮮明度を調整し、画像をソフトに、またはシャープにします。
ピクセル・クロックと位相	画像の質を調整します。「ピクセル・クロック」では大まかな設定を、「位相」では微細な設定を行います。
ディスプレイ情報	モニターの現在の設定を表示します。
ディスプレイの設定をリセット	このオプションを選択して、設定を工場出荷時の既定値に戻します。

3.5.3 その他の設定

「その他の設定」のメニューから、OSDの各種設定を調整することができます。

表 3.9 その他の設定

機能	説明
言語	OSDで使用される言語を選択します。
メニュー・タイマー	最後にボタンにタッチしてからOSDがアクティブな状態を保つ秒数を5秒刻みで選択します。
メニュー・ロック	各種調整へのユーザーのアクセスを管理します。ロックに設定すると、ユーザーの調整はできなくなります。ロックあるいはロック解除するには、モニターの前面パネルのX(終了)ボタンを15秒間押し続けます。ロックがかかったり外されたりすると、画面上でアイコンが点滅します。
DDC/CI (ディスプレイ・データ・チャンネル / コマンド・インターフェイス)	ご使用のコンピューターのソフトウェアを介して、モニターのパラメーター(明るさ、カラー・バランスなど)を調整できるようになります。
LCDコンディショニング	モニターで画像の固定が見られる場合は、残像の解消に役立てることができます。「LCDコンディショニング」機能の使用は数時間かかる場合があります。メニューボタンのいずれかを押すか、モニターの電源をオフにすると、安全に「LCDコンディショニング」を停止することができます。注:「LCDコンディショニング」機能では、焼き付きの解消はできません。
工場出荷時の値にリセット	すべてのOSD設定を工場出荷時の既定値にリセットします。

3.5.4 パーソナライズ

モニターの前面パネルには3つのショートカット・キーがあります。「パーソナライズ」メニューから、コントロール・メニューを素早くアクセスできるショートカット・キーに割り当てることができます。

3.6 USB 3.0

この装置には、コンソールと接続されているUSBデバイス間で高速のデータ送信を提供するUSB 3.0 準拠のパススルー・ポートが2つ付いています。ただし、USB 1.1または2.0 ターゲットを使用している場合は、最大速度は、それらのデバイスのしきい値に制限されます。以下の表を参照してください。

表 3.10 USB最大速度表

デバイス / ターゲット	USB 1.1ターゲット	USB 2.0ターゲット	USB 3.0ターゲット
USB 1.1デバイス	12メガビット / 秒	12メガビット / 秒	12メガビット / 秒
USB 2.0デバイス	12メガビット / 秒	480メガビット / 秒	480メガビット / 秒
USB 3.0デバイス	12メガビット / 秒	480メガビット / 秒	4.8ギガビット / 秒

注：デバイスは、USB 3.0 のターゲットでは900 mA、USB 2.0 のターゲットでは500 mAに制限されています。

3.7 キーボード

キーボードで、いろいろな機能を実行するためのキーのセットが提供されます：

- 文字、数字、句読点、記号を入力するための英数字キー。
- 特定の操作を実行するためのコントロール・キー：Ctrl、Alt、Esc、Windowsロゴ・キー。
- 特定のタスクを実行するためのファンクション・キー（F1、F2、F3などのようにラベルが付けられています）。
- ドキュメントまたはウィンドウ内でカーソルを移動するためのナビゲーション・キー：Home、End、Page Up、Page Down、Delete、Insert、および各矢印キー。
- 加算器のものと同様に数字を一緒にグループ別にしたテンキー。
- キーボードでは、4個のキーの組み合わせによる各種ショートカットあるいはコマンドの使用に制限されています。

表 3.11 Windows® の一般的なキーボード・ショートカット

ショートカット	説明
Ctrl+Shift+Esc	タスク・マネージャー・ウィンドウを開きます。
F2	選択したアイテムの名前を変更します。
F3	ファイルまたはフォルダーを検索します。
F4	Windowsエクスプローラー内にアドレス・バーのリストを表示します。
F5	アクティブなウィンドウを更新します。
F6	ウィンドウ内またはデスクトップ上の画面要素を巡回します。
F10	アクティブ・プログラム内のメニュー・バーを有効にします。
Ctrl+c	選択したアイテムをコピーします。
Ctrl+x	選択したアイテムを切り取ります。
Ctrl+v	選択したアイテムを貼り付けます。
Ctrl+z	操作を取り消します。
Ctrl+a	ドキュメントまたはウィンドウ内のすべてのアイテムを選択します。
Ctrl+F4	アクティブ・ウィンドウを閉じます(ただし、複数のドキュメントを同時に開くことが許されているプログラムの場合)。
Ctrl+Alt+Tab	矢印キーを使用して開いているアイテム間を切り替えます。
Alt+Tab	開いているアイテム間を切り替えます。
Alt+Esc	開かれた順序でアイテムを切り替えます。
Delete	選択したアイテムを削除して、ごみ箱に移動します。
Shift+Delete	最初にごみ箱に移動することなく、選択したアイテムを削除します。
Ctrl+右向き矢印キー	カーソルを次の単語の先頭に移動します。
Ctrl+左向き矢印キー	カーソルを前の単語の先頭に移動します。
Ctrl+下向き矢印キー	カーソルを次の段落の先頭に移動します。
Ctrl+上向き矢印キー	カーソルを前の段落の先頭に移動します。
Ctrl+Shift+任意の矢印キー	テキストのブロックを選択します。
Shift+任意の矢印キー	ウィンドウ内またはデスクトップ上で複数のアイテムを選択するか、ドキュメント内のテキストを選択します。
Windowsロゴ・キー+m	開いているウィンドウをすべて最小化します。
Windowsロゴ・キー+Shift+m	最小化されたウィンドウをすべて元のサイズに戻します。このキーの組み合わせはトグルとして機能し、Windowsロゴ・キー+<m>の組み合わせを使用して最小化したウィンドウを元のサイズに戻します。
Windowsロゴ・キー+e	Windowsエクスプローラーを起動します。
Windowsロゴ・キー+r	「ファイル名を指定して実行」ダイアログ・ボックスを開きます。
Windowsロゴ・キー+f	「検索結果」ダイアログ・ボックスを開きます。
Windowsロゴ・キー+Ctrl+f	「コンピューターを検索します」ダイアログ・ボックスを開きます(コンピューターがネットワークに接続されている場合)。
Windowsロゴ・キー+Pause	システム・プロパティのダイアログ・ボックスを開きます。

3.8 タッチパッド

指を使ってタッチ入力して、画面でカーソルを移動したり、オブジェクトを選択することができます。

カーソルを移動するには、

指をタッチパッドの上で軽くスライドさせます。

オブジェクトを選択するには、

タッチパッドの表面を1回軽くタップするか、親指を使ってタッチパッドの左ボタンを押します。

オブジェクトを選択したり移動(またはドラッグ)したりするには、

カーソルをオブジェクトに合わせて、タッチパッドを2回タップします。2回目のタップの際、指をタッチパッドの上に残したままで、指を表面上でスライドさせて、選択したオブジェクトを移動します。

オブジェクトをダブルクリックするには、

カーソルをオブジェクトに合わせて、タッチパッドを2回タップするか、親指を使ってタッチパッドの左ボタンを2回押します。

タッチパッドを掃除するには、

乾いた、糸くずのない布片を使用して、タッチパッドの表面全体をそつと拭きます。

4 ラックからの取り外し

この章では、コンソール・トレイを4柱仕様のラック・キャビネットから取り外す手順について説明します。

コンソール・トレイをラックから取り外すには、

1. ラックの後部で、ケーブル管理アーム(CMA)から固定ネジを緩め、レールから取り外します。
2. ターゲット・デバイスからケーブルを抜きます。
3. コンソール・トレイをスライド・レールが完全に伸長した位置になるまで引き出します。
4. コンソール・トレイの各側面にある青のタブを押します。
5. 手順4のようにタブを押しながら、コンソール・トレイをスライドさせてラックから出します。

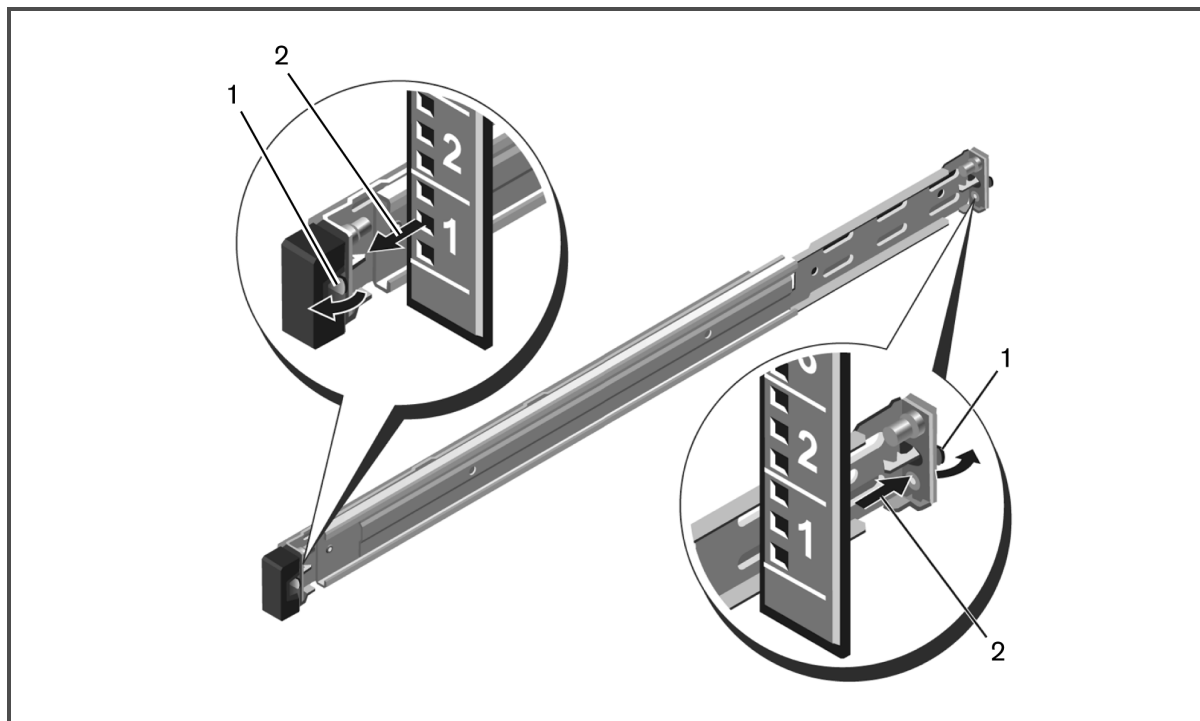
図 4.1 コンソール・トレイのラックからの取り外し



ツールレス・レールを取り外すには:

1. ラックの前面で、青のタブを引いて、ロックを解放します。
2. ラックの後部で手順を繰り返し、レールをスライドさせてラックから取り出します。

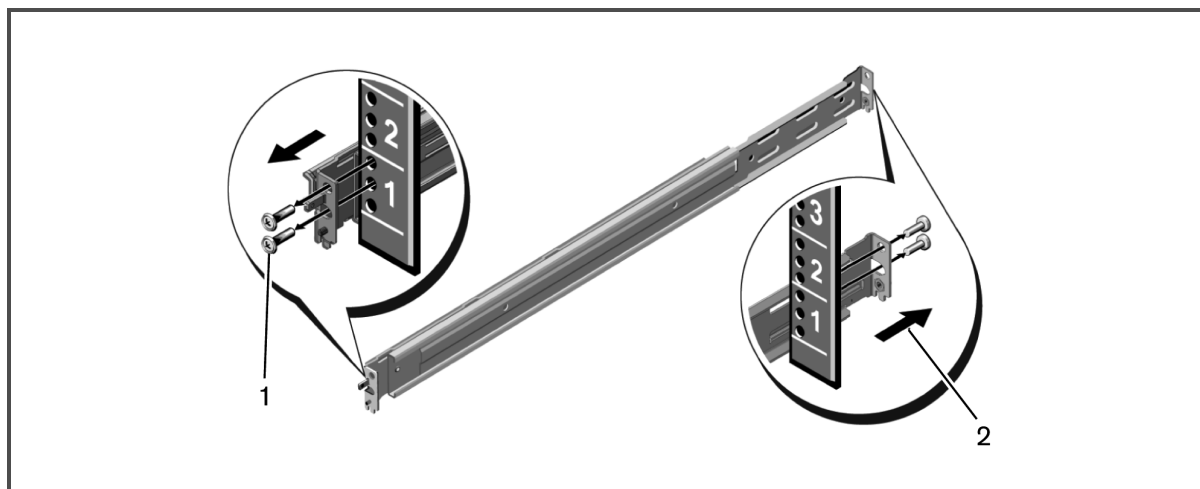
図 4.2 ツールレス・レールの取り外し



ツールド・レールを取り外すには:

1. 2対のネジを緩め、前面の垂直ラック・フランジから左右のブラケットを取り外します。
2. 2対のネジを緩め、後部の垂直ラック・フランジから左右の取り付けレールを取り外します。

図 4.3 ツールド・レールの取り外し



付録

このセクションは「サポートされているタイミング」表および製品の技術仕様で構成されています。

付録 A: タイミング

表 A.1 サポートされているタイミング

解像度	水平周波数 と極性	垂直周波数 と極性	ピクセル・クロック	スキャン・タイプ	水平同期	垂直同期
640 x 480 @ 60 Hz	31.469 kHz 負	59.940 Hz 負	25.175 MHz 39.72 ns	非 インターレース	3.813 us 96ドット	.064 ms 2 ライン
640 x 480 @ 75 Hz	37.5 kHz 負	75 Hz 負	31.5 MHz 31.75 ns	非 インターレース	2.032 us 64ドット	.08 ms 3 ライン
800 x 600 @ 60 Hz	37.879 kHz 正	60.317 Hz 正	40 MHz 25 ns	非 インターレース	3.2 us 128ドット	.106 ms 4 ライン
800 x 600 @ 75 Hz	46.875 kHz 正	75 Hz 正	49.5 MHz 20.2 ns	非 インターレース	1.616 us 80ドット	.064 ms 3 ライン
1024 x 768 @ 60 Hz	43.363 kHz 負	60.004 Hz 負	65 MHz 15.38 ns	非 インターレース	2.092 us 136ドット	.124 ms 6 ライン
1024 x 768 @ 75 Hz	60.023 kHz 正	75.029 Hz 正	78.75 MHz 12.7 ns	非 インターレース	1.219 us 96ドット	.05 ms 3 ライン
1152 x 864 @ 60 Hz	54.348 kHz 正	60.053 Hz 正	80 MHz 12.5 ns	非 インターレース	1.2 us 96ドット	.055 ms 3 ライン
1152 x 864 @ 75 Hz	67.5 kHz 正	75 Hz 正	108 MHz 9.26 ns	非 インターレース	1.185 us 128ドット	.044 ms 3 ライン
1366 x 768 @ 60 Hz	47.712 kHz 正	60.015 Hz 正	85.5 MHz 11.7 ns	非 インターレース	1.31 us 112ドット	.126 ms 6 ライン
1366 x 768 @ 75 Hz	60.15 kHz 正	75 Hz 正	110.195 MHz 9.07 ns	非 インターレース	1.307 us 144ドット	.049 ms 3 ライン
1280 x 800 @ 60 Hz	49.702 kHz 負	59.81 Hz 正	83.5 MHz 11.98 ns	非 インターレース	1.533 us 128ドット	.121 ms 6 ライン
1280 x 800 @ 75 Hz	62.795 kHz 負	74.934 Hz 正	106.5 MHz 9.39 ns	非 インターレース	1.202 us 128ドット	.096 ms 6 ライン
1280 x 1024 @ 60 Hz	63.981 kHz 正	60.02 Hz 正	108 MHz 9.26 ns	非 インターレース	1.037 us 112ドット	.047 ms 3 ライン
1280 x 1024 @ 75 Hz	79.976 kHz 正	75.025 Hz 正	135 MHz 7.41 ns	非 インターレース	1.067 us 144ドット	.038 ms 3 ライン
1440 x 900 @ 60 Hz	55.935 kHz 負	59.877 Hz 正	106.5 MHz 9.39 ns	非 インターレース	1.427 us 152ドット	.107 ms 6 ライン
1440 x 900 @ 75 Hz	70.635 kHz 負	74.984 Hz 正	136.75 MHz 7.31 ns	非 インターレース	1.112 us 152ドット	.085 ms 6 ライン

注:「範囲外」というメッセージが表示される場合は、ターゲット・デバイスからのビデオ信号がサポートされる解像度を満たしていないことになります。出力解像度が対応するタイミングに合うように調整してください。

このページは意図的に空白にしています。

付録 B: テクニカル・サポート

Vertiv™ 製品のインストールや操作について問題や疑問点が生じた場合には当社のテクニカル・サポートまでご連絡ください。担当スタッフがお手伝いいたします。万一問題が生じた場合は、より良いサービスをお受けいただけるよう、次の手順に従ってください。

問題を解決するには:

1. 問題の該当箇所をマニュアルで調べ、記載されている手順に従って解決できるかどうかを試してください。
2. www.VertivCo.com/en-us/support にアクセスし、
ナレッジベースを検索するか、またはオンライン・サービス・リクエストを使用してください。
-または-
テクニカル・サポート連絡先を選択し、最寄りのVertiv™ テクニカル・サポートを検索してください。

このページは意図的に空白にしています。





VertivCo.com | Vertiv 本社、1050 Dearborn Drive, Columbus, OH, 43085, USA

© 2018 Vertiv Co. All rights reserved. Vertiv および Vertiv ロゴは、Vertiv Co. の商標または登録商標です。言及されている他のすべての名称およびロゴは、それぞれの所有者の商号、商標、または登録商標です。ここに記載される内容の正確性および完全性を保証するため、Vertiv Co. ではあらゆる予防措置を講じておりますが、本情報の使用が原因で発生する損害または錯誤もしくは不作為に対して、一切の責任を負わず、かつそのすべての賠償責任を拒否します。仕様は予告なく変更されることがあります。

590-1749-510B